

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(令和4年8月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査①】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

- 1. 調査概要 I - 1
- 2. 工事の実施状況 I - 3
- 3. 調査結果の概要 I - 4

II 事後調査結果

- 1. 大気質 II - 1
- 2. 水質 II - 9

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和4年8月（大気質、水質）の事後調査の概要は表-1に、調査地点の位置は図-1に示すとおりである。

表-1(1) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 大気質）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	8月1日~31日	通年連続

表-1(2) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 水質（一般項目））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	8月3日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

【参考】(自主検査)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
ノニルフェノール 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸 及びその塩(LAS) 全亜鉛	5点 【1, 2, 3, 4, 5】 上層のみ調査	8月3日	1回/年

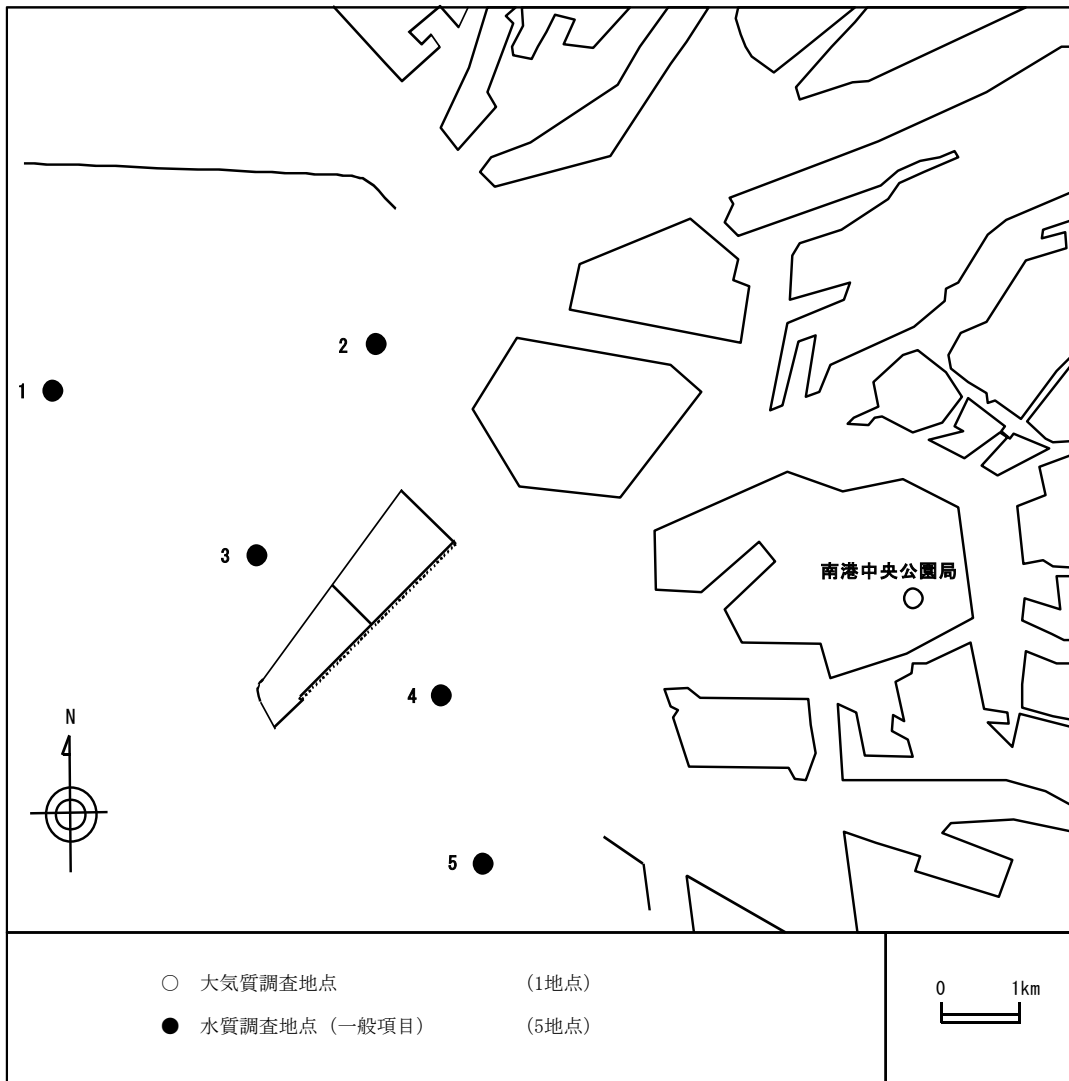
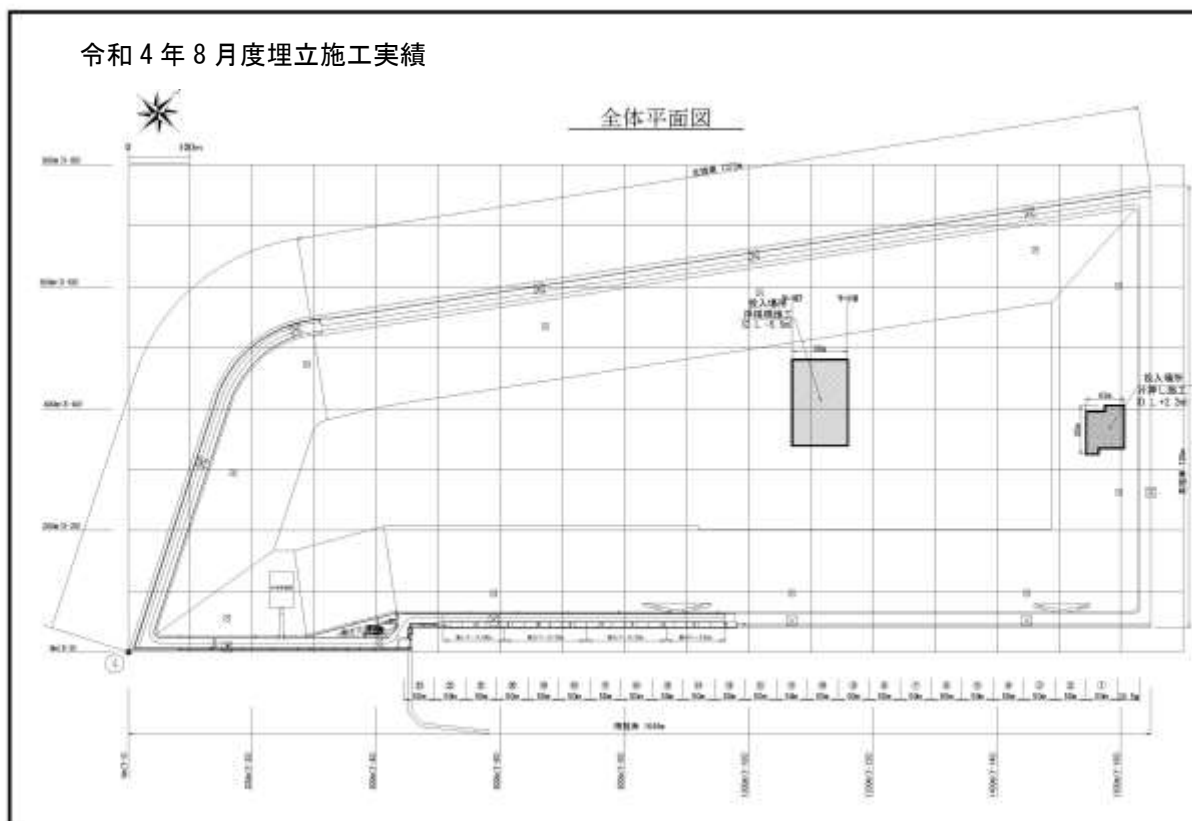


図-1 大気質・水質(一般項目)の調査地点

2. 工事の実施状況

令和4年8月の工事の実施状況は、図-2に示すとおりである。



埋立量(m ³)	進捗率(%)
6,676,434	47.8

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図-2 工事の実施状況 (大阪沖処分場平面図)

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

- 1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1時間値：0.1ppm 以下】
二酸化硫黄(SO₂)の月平均値は、0.006ppm であった。また、日平均値の最高値は0.008ppm、1時間値の最高値は0.017ppm であり、環境基準値を下回っていた。
- 2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】
二酸化窒素(NO₂)の月平均値は、0.013ppm であった。また、日平均値の最高値は0.022ppm であり、環境基準値を下回っていた。
- 3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m³以下、1時間値：0.20 mg/m³以下】
浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.019mg/m³であった。また、日平均値の最高値は0.037mg/m³、1時間値の最高値は0.109mg/m³であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質

①一般項目 [水質様式第1号]

1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層でいずれも 8.6～8.7、下層で 7.8～8.0 の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準の範囲内であった。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (8.6)、調査地点 2～5 (8.7) であった。ほとんどの調査地点で、事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）の上層の 7.7～8.6 を超過していたが、本調査と同一日に調査が実施された周辺の環境基準点においても、広範囲にわたって pH が環境基準を上回っていたため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で 3.8～5.0mg/L、下層で 1.9～2.7mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を上回った調査結果は、上層の調査地点 1 (3.8mg/L)、調査地点 2 (5.0mg/L)、調査地点 3 (4.6mg/L) 及び調査地点 4, 5 (4.7mg/L) であった。調査地点 2 で、事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）の上層の 1.6～4.9mg/L を超過していたが、本調査と同一日に調査が実施された周辺の環境基準点においても、広範囲にわたって COD が環境基準を上回っていたため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 7.9~9.7mg/L、下層で 2.3~7.8mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層ではほとんどの調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回った調査結果は、下層の調査地点 2, 3 (2.7mg/L)、調査地点 4 (2.6mg/L) 及び調査地点 5 (2.3mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は下層で 0.6~11mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.34~0.55mg/L、下層で 0.31~0.46mg/L の範囲であり、上層及び下層ともに全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値：0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.040~0.062mg/L、下層で 0.069~0.11mg/L の範囲であり、上層ではほとんどの調査地点において環境基準値を上回っており、下層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を上回った調査結果は、上層の調査地点 2 (0.059mg/L)、調査地点 3 (0.054mg/L)、調査地点 4 (0.060mg/L) 及び調査地点 5 (0.062mg/L)、下層の調査地点 1 (0.069mg/L)、調査地点 2 (0.087mg/L)、調査地点 3 (0.069mg/L)、調査地点 4 (0.11mg/L) 及び調査地点 5 (0.10mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021~0.15mg/L、下層で 0.020~0.25mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で 1~2 度(カリン)、下層で 2~3 度(カリン)の範囲であった。

7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で 2~5mg/L、下層で 3~4mg/L の範囲であった。

8) クロロフィル a

クロロフィル a は上層で 2.1~11µg/L、下層で 1.0~6.0µg/L の範囲であった。

【参考】ノニルフェノール、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (LAS)、全亜鉛

ノニルフェノールはいずれも報告下限値未満 (<0.00006mg/L)、LAS は報告下限値未満 (<0.0006mg/L) ~0.0006mg/L、全亜鉛は 0.001~0.004mg/L の範囲にあり、全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

《 参考 》

■環境基準値等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、 1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでの ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、 1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。

(2)水質

①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8以上 8.3以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L以下
	全磷（T-P）	0.05mg/L以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD又はCOD）の評価方法について（昭和52年環水管52号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値（0.75×n番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

2. 事業実施前調査結果（平成12年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成12年度・調査地点1～5)	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	—
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	—
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点1～5における全調査地点の最小値と最大値を示す。
 2. m：環境基準値を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における75%値の最小～最大を示す。

II 事後調查結果

大気質測定結果総括表 [令和4年8月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	739
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	740
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	738
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注: 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果〔令和4年8月分〕

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (月)	0.005	0.007
	2 (火)	0.004	0.006
	3 (水)	0.006	0.008
	4 (木)	0.006	0.010
	5 (金)	0.006	0.007
	6 (土)	0.006	0.007
	7 (日)	0.005	0.007
	8 (月)	0.007	0.016
	9 (火)	0.008	0.017
	10 (水)	0.005	0.006
別	11 (木)	0.005	0.008
	12 (金)	0.005	0.006
	13 (土)	0.005	0.007
	14 (日)	0.006	0.011
	15 (月)	0.007	0.013
	16 (火)	0.006	0.008
	17 (水)	0.006	0.009
	18 (木)	0.005	0.006
	19 (金)	0.005	0.008
	20 (土)	0.006	0.009
値	21 (日)	0.005	0.009
	22 (月)	0.005	0.008
	23 (火)	0.005	0.007
	24 (水)	0.005	0.006
	25 (木)	0.005	0.007
	26 (金)	0.005	0.006
	27 (土)	0.006	0.008
	28 (日)	0.005	0.005
	29 (月)	0.006	0.007
	30 (火)	0.005	0.006
	31 (水)	0.006	0.008
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		739	
月平均値 (ppm)		0.006	
日平均値の最高値 (ppm)		0.008	
1時間値の最高値 (ppm)		0.017	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果 [令和4年8月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (月)	0.008	0.019
	2 (火)	0.006	0.012
	3 (水)	0.005	0.010
	4 (木)	0.006	0.022
	5 (金)	0.005	0.013
	6 (土)	0.003	0.006
	7 (日)	0.003	0.003
	8 (月)	0.004	0.007
	9 (火)	0.007	0.025
	10 (水)	0.005	0.008
別	11 (木)	0.004	0.007
	12 (金)	0.005	0.011
	13 (土)	0.003	0.005
	14 (日)	0.003	0.003
	15 (月)	0.004	0.008
	16 (火)	0.004	0.009
	17 (水)	0.011	0.035
	18 (木)	0.003	0.003
	19 (金)	0.003	0.005
	20 (土)	0.004	0.011
値	21 (日)	0.002	0.003
	22 (月)	0.005	0.015
	23 (火)	0.006	0.023
	24 (水)	0.003	0.006
	25 (木)	0.005	0.013
	26 (金)	0.004	0.009
	27 (土)	0.003	0.004
	28 (日)	0.002	0.002
	29 (月)	0.004	0.008
	30 (火)	0.004	0.013
	31 (水)	0.012	0.042
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		740	
月平均値 (ppm)		0.005	
日平均値の最高値 (ppm)		0.012	
1時間値の最高値 (ppm)		0.042	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第4号（埋立地関連）

二酸化窒素測定結果 [令和4年8月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の最高値 (ppm)
日 別 値	1 (月)	0.011	0.017
	2 (火)	0.011	0.015
	3 (水)	0.014	0.027
	4 (木)	0.018	0.032
	5 (金)	0.020	0.032
	6 (土)	0.012	0.028
	7 (日)	0.007	0.010
	8 (月)	0.010	0.015
	9 (火)	0.010	0.016
	10 (水)	0.009	0.013
	11 (木)	0.007	0.010
	12 (金)	0.011	0.023
	13 (土)	0.008	0.021
	14 (日)	0.007	0.015
	15 (月)	0.008	0.015
	16 (火)	0.007	0.015
	17 (水)	0.015	0.029
	18 (木)	0.011	0.024
	19 (金)	0.015	0.027
	20 (土)	0.016	0.031
	21 (日)	0.007	0.013
	22 (月)	0.017	0.026
	23 (火)	0.017	0.028
	24 (水)	0.017	0.029
	25 (木)	0.022	0.036
	26 (金)	0.015	0.025
	27 (土)	0.015	0.029
	28 (日)	0.005	0.007
	29 (月)	0.022	0.046
	30 (火)	0.020	0.038
	31 (水)	0.018	0.030
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		740	
月平均値 (ppm)		0.013	
日平均値の最高値 (ppm)		0.022	
1時間値の最高値 (ppm)		0.046	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物（NO+NO₂）測定結果 [令和4年8月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値		1時間値の最高値 (ppm)
		(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	
日	1 (月)	0.019	57.5	0.033
	2 (火)	0.016	65.1	0.024
	3 (水)	0.018	75.1	0.030
	4 (木)	0.024	75.3	0.043
	5 (金)	0.025	81.2	0.036
別	6 (土)	0.016	78.8	0.034
	7 (日)	0.010	70.3	0.013
	8 (月)	0.014	71.5	0.022
	9 (火)	0.017	60.1	0.037
	10 (水)	0.014	62.8	0.019
	11 (木)	0.011	64.0	0.015
	12 (金)	0.016	68.3	0.031
	13 (土)	0.011	72.9	0.024
	14 (日)	0.010	71.3	0.018
	15 (月)	0.011	68.0	0.022
値	16 (火)	0.011	61.3	0.024
	17 (水)	0.026	58.0	0.064
	18 (木)	0.014	81.4	0.027
	19 (金)	0.017	83.7	0.030
	20 (土)	0.019	81.8	0.042
	21 (日)	0.009	76.7	0.016
	22 (月)	0.021	77.3	0.035
	23 (火)	0.023	73.8	0.044
	24 (水)	0.020	84.6	0.035
	25 (木)	0.026	82.3	0.045
	26 (金)	0.019	81.2	0.034
	27 (土)	0.017	83.9	0.032
	28 (日)	0.007	71.9	0.009
	29 (月)	0.026	85.2	0.050
	30 (火)	0.024	63.0	0.042
	31 (水)	0.030	36.5	0.067
有効測定日数 (日)		31		
測定時間 (時間)		740		
月平均値 (ppm)		0.017		
日平均値の最高値 (ppm)		0.030		
1時間値の最高値 (ppm)		0.067		
月平均値 NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)		73.4		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO₂ / (NO+NO₂)の算定方法は、下記のとおりである。

日(月)平均値NO₂ / (NO+NO₂) =

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO₂濃度の日(月)間にわたる総和) /

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO+NO₂濃度の日(月)間にわたる総和)

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果 [令和4年8月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(mg/m ³)	1時間値の最高値(mg/m ³)
日	1 (月)	0.012	0.020
	2 (火)	0.015	0.061
	3 (水)	0.025	0.054
	4 (木)	0.029	0.106
	5 (金)	0.020	0.055
別	6 (土)	0.021	0.068
	7 (日)	0.018	0.034
	8 (月)	0.030	0.085
	9 (火)	0.030	0.057
	10 (水)	0.016	0.044
	11 (木)	0.012	0.030
	12 (金)	0.012	0.025
	13 (土)	0.021	0.066
	14 (日)	0.034	0.073
	15 (月)	0.037	0.109
値	16 (火)	0.029	0.058
	17 (水)	0.017	0.036
	18 (木)	0.009	0.018
	19 (金)	0.012	0.028
	20 (土)	0.016	0.024
	21 (日)	0.010	0.023
	22 (月)	0.018	0.046
	23 (火)	0.022	0.038
	24 (水)	0.013	0.020
	25 (木)	0.021	0.033
	26 (金)	0.013	0.023
	27 (土)	0.019	0.033
	28 (日)	0.012	0.019
	29 (月)	0.014	0.033
	30 (火)	0.012	0.028
	31 (水)	0.017	0.030
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		738	
月平均値 (mg/m ³)		0.019	
日平均値の最高値 (mg/m ³)		0.037	
1時間値の最高値 (mg/m ³)		0.109	
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）〔令和4年8月分〕

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多 風向 16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	1 (月)	0.9	2.5	W, WSW	W
	2 (火)	0.9	2.1	WSW	W
	3 (水)	0.9	1.9	W	WSW
	4 (木)	0.9	2.1	WSW	W
	5 (金)	0.6	1.4	WSW, ESE	WSW
	6 (土)	0.6	1.4	W	W
	7 (日)	0.9	2.2	WSW	W
	8 (月)	1.0	2.2	WSW	WSW
	9 (火)	0.9	2.2	W	W
	10 (水)	1.0	2.2	W	W
別	11 (木)	1.1	2.6	W	W
	12 (金)	0.7	1.1	ESE, E	WNW
	13 (土)	1.0	2.1	WSW	WSW
	14 (日)	1.1	2.3	WSW	WSW
	15 (月)	1.2	2.4	WSW, W	WSW
	16 (火)	1.6	2.3	SW	WSW
	17 (水)	0.5	1.2	SW	SW
	18 (木)	1.1	2.3	SW, WNW	WSW
	19 (金)	0.9	2.1	WSW	WSW
	20 (土)	0.7	1.7	W	WSW
値	21 (日)	0.6	1.1	WNW	N
	22 (月)	0.8	2.4	W	NW
	23 (火)	0.8	1.5	WNW	WNW
	24 (水)	0.5	0.9	NW	NW
	25 (木)	0.7	1.9	SW, WSW	WSW
	26 (金)	0.8	2.0	W	WSW
	27 (土)	0.8	1.6	SW	W
	28 (日)	0.8	1.6	N	N
	29 (月)	0.8	1.8	W	ENE
	30 (火)	0.8	2.7	ESE	ESE
	31 (水)	0.9	3.5	WSW	W
測定時間 (時間)		744			
月平均風速 (m/s)		0.9			
月最大風速 (m/s)		3.5			
月最多風向 (16方位)		WSW			

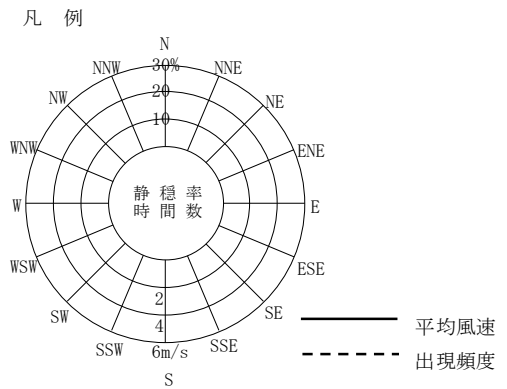
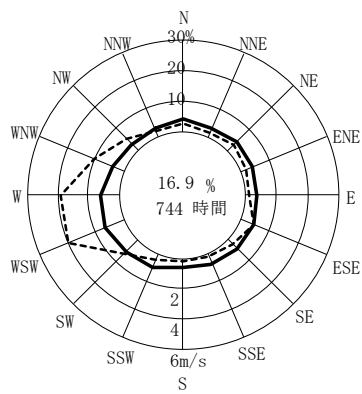
注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [令和4年8月分]

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	13	19	15	9	31	15	6	8	16	47	143	140	76	41	16	23	126	744
頻度 (%)	1.7	2.6	2.0	1.2	4.2	2.0	0.8	1.1	2.2	6.3	19.2	18.8	10.2	5.5	2.2	3.1	16.9	-
平均風速 (m/s)	0.6	0.8	0.8	0.7	0.9	0.8	0.7	0.6	0.9	1.1	1.3	1.2	0.8	0.6	0.6	0.9	0.2	-

測定局：南港中央公園局 風向風速計高さ：14.2m



注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風配図 [令和4年8月分]

水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）〔令和4年8月分〕

調査日：令和4年8月3日

項目	調査点	1	2	3	4	5	最小値 ～ 最大値		平均値
	時刻		8:15	8:19	8:40	9:28	9:45	-	
透明度	[m]	3.7	1.5	2.0	2.1	1.8	1.5	～ 3.7	2.2
水温		29.1	29.6	29.4	29.7	29.9	29.1	～ 29.9	29.5
	[°C]	23.2	23.7	23.2	23.0	23.1	23.0	～ 23.7	23.2
塩分		25.6	23.2	23.9	24.8	24.9	23.2	～ 25.6	24.5
	[-]	32.7	32.0	32.7	32.5	32.5	32.0	～ 32.7	32.5
濁度		1	2	1	1	2	1	～ 2	1
	[度(カリン)]	3	2	3	3	2	2	～ 3	3
浮遊物質 (SS)		2	4	4	3	5	2	～ 5	4
	[mg/L]	4	3	4	4	3	3	～ 4	4
水素イオン濃度 (pH)		8.6	8.7	8.7	8.7	8.7	8.6	～ 8.7	-
	[-]	7.9	8.0	8.0	7.8	7.8	7.8	～ 8.0	-
化学的酸素要求量 (COD)		3.8	5.0	4.6	4.7	4.7	3.8	～ 5.0	4.6
	[mg/L]	1.9	2.7	2.3	2.2	2.3	1.9	～ 2.7	2.3
溶存酸素量 (DO)	濃度	7.9	9.0	9.7	9.3	8.9	7.9	～ 9.7	9.0
	[mg/L]	7.8	2.7	2.7	2.6	2.3	2.3	～ 7.8	3.6
	飽和度	119	135	145	141	135	119	～ 145	135
	[%]	111	38	38	37	33	33	～ 111	51
全窒素 (T-N)		0.34	0.55	0.40	0.40	0.44	0.34	～ 0.55	0.43
	[mg/L]	0.31	0.46	0.32	0.45	0.42	0.31	～ 0.46	0.39
全磷 (T-P)		0.040	0.059	0.054	0.060	0.062	0.040	～ 0.062	0.055
	[mg/L]	0.069	0.087	0.069	0.11	0.10	0.069	～ 0.11	0.087
クロロフィル a (chl. a)		2.1	6.8	2.7	10	11	2.1	～ 11	6.5
	[μg/L]	1.0	4.0	1.4	4.0	6.0	1.0	～ 6.0	3.3

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項

【参考】（自主検査）

水質調査結果（自主検査）[令和4年8月分]

調査日：令和4年8月3日

項目	調査点	1	2	3	4	5
		ノニルフェノール [mg/L]	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006
報告下限値 0.00006						
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (LAS) [mg/L]		<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.0006
報告下限値 0.0006						
亜鉛 [mg/L]		0.004	0.004	0.003	0.001	0.001
報告下限値 0.001						

項目	環境基準値
ノニルフェノール [mg/L]	0.001
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (LAS) [mg/L]	0.01
亜鉛 [mg/L]	0.02